

【相談】



ロールタップ加工を行っていますが、GP-6Hゲージが少しきついで、もう少しだけ、めねじを大きくしたいのですが、どの等級を使用したら良いですか？

【回答】

現在使用しているロールタップの等級を確認してください。その等級数字より大きいロールタップを使用すれば、解決できると思いますよ。ロールタップの等級と選定法について説明しますね。



【解説】

ロールタップの等級である「G級」は、ANSIタップGH級、公差0.0005 inch (12.7 μm) に準じて、階段状に設定してあります。

被加工材の種類によって盛り上がり方が異なりますので、最適なめねじ精度が得られるよう、1寸法のロールタップに対して 2～3種類の等級をそろえています。

例えば、スチール用ロールタップ N+RZ M5×0.8 で、推奨等級「G6」を使用してねじゲージ GP-6Hが、少しきつい時は、「G7」もしくは「G8」を使用すれば、解決できると思います。

ただし、加工されためねじの仕上がり内径は、タップ等級を大きくすると、やや小さくなる場合があります。めねじ内径が、規格から外れる場合は、下穴径を若干大きく調整してください。

【アドバイス】



参考資料として、6H級めねじと推奨ロールタップのG級 及び 標準品G級の有効径公差域の比較表を記載します。

■ 6H級めねじと推奨ロールタップG級の有効径公差域比較表

